



本会議所では昨年10月JCCCホームページ上にシカゴビジネス支援コーナーを立ち上げ、当地日系企業の皆様に役立つビジネス情報をWEB上に掲示させて頂いております。そこで今月号から同コーナーに情報をご提供頂いております各企業の皆様のご協力を得て、会員企業の皆様からご相談を受ける機会が多い質問や最新情報を紙面で順番にご提供頂くことに致しました。第1回目は日本生命保険・横山浩司様から寄稿して頂いた「医療コスト上昇の背景」とキマタパーソナル・木全義二様の「最近の雇用マーケット動向と面接時の留意点」です。

## 医療コスト上昇の背景

日本生命保険相互会社 横山 浩司 氏

ここ数年、アメリカでは医療コストが猛烈な勢いで上昇し、それに伴う医療保険料の高騰は、各企業にとって大きな問題となっています。そこで今回は、JCCC Newsの紙面をお借りし、医療コスト上昇の背景について解説させていただきたいと思っております。

Mercer Human Resource Consultingが全米の290社を対象に行ったサーベイによると、2002年の従業員一人当たりの医療コストは前年に対し14.7%も上昇しており、従業員500名以下の企業についてみると、この上昇率は18.1%にも達します。このトレンドは2003年以降も続く見通しです。

こうした医療コスト高騰は、日本と大きく異なるアメリカの医療制度に起因しています。すなわち、治療行為ごとに診療報酬が決められている日本と異なり、米国では医療費の決定が医療機関に委ねられており、医療機関を取り巻く環境が医療費を大きく左右します。その要素を列挙すると、

医療技術の高度化、医療施設の充実  
サービス提供者が提供するサービスの品質を高めれば、その分が設備投資の回収と合わせて価格に反映されていきます。

医療過誤賠償責任保険料の上昇  
訴訟社会の米国で、医療過誤訴訟は昨今一層過熱化しており、賠償責任保険料も高騰の一途を辿り、コストの上昇として価格に転嫁されることとなります。

医療スタッフの賃上げ圧力  
日本と同様、看護師等の医療サービス業は激務であり、人材不足の状況にあります。こうした諸要因について、劇的な状況の改善はなかなか期待できないのが現状です

先述したトレンドと期を同じくして急激に上昇し、医療コストを

押し上げているのが薬価です。先ほどのMerck社によると、処方箋薬のコストの伸びは、2000年の18.3%、2001年の17.8%と続き、2002年は16.9%となっており、3年間で1.6倍にもなっています。この背景にあるのは、製薬会社間の新薬開発競争の激化です。一般に、自社が特許を有する新薬は「Brand」と呼ばれ、自社ブランドで販売することができ、利益率も高くなります。特許が切れた薬は「一般薬 (Generic)」と呼ばれ、どの製薬会社もその薬を販売することができ、価格は安くなります。製薬会社はこの新薬の開発に多額の開発費を投じています。製薬会社間のM&Aが盛んなのは、こうした開発体制を整備するためと考えられます。

また、医師も一般薬に比べて高額な新薬を処方する傾向が強まっており、その結果、高額な新薬と一般薬の差額分だけ医療コストが押し上げられることとなります。このような中、保険会社は新薬に対する給付を制限するような商品を導入し、一般薬の利用を促進することで、医療費の抑制を図っています。

こうした環境下、HMO、PPOといったマネジドケア型の保険プランが利用されるとともに、Deductible、Out-of-Pocket Maximumの引き上げ、Coinsuranceの引き上げといった給付水準の切り下げが行われる傾向にあります(\*)。プラン見直しにあたっては、保険担当者との密接なコミュニケーションを取り、ブローカーや保険会社から十分に情報を収集していただきたいと思っております。

(\*) HMO、PPOといったマネジドケア型の保険プランや、Deductible、Out-of-Pocket Maximum、Coinsurance等の医療保険に関する用語につきましては、JCCCホームページ (<http://www.jccc-chicago.com>)のシカゴビジネス支援コーナー(ホームページ最上段をクリック)にありますビジネスQ&Aにて解説を行っております。こちらも合わせてご覧下さい。

## 日本生命保険相互会社の概要

企業名(英): Nippon Life Insurance Company of America  
 企業名(日): 日本生命保険相互会社  
 所在地: 190 S. LaSalle St., Suite 1680, Chicago, IL 60603  
 代表者: 有村 寛(シカゴ支店長)  
 電話: 312-807-1120  
 FAX: 312-807-1110  
 コンタクトパーソン: 横山 浩司  
 創業年: 1991年  
 従業員: 日本人: 11人 米人: 81人  
 URL: www.nlia.com  
 会社概要:

日本生命は、米国にて1972年保険仲介業務を開始した後、1991年に米国日本生命を設立。米国内日系企業及び米国企業の皆様に、団体健康保険を中心とする幅広い保険商品・サービスを提供しております。

現在、日本の生命保険会社の米国子会社として、保険の引受・販売業務を行う、唯一の企業です。シカゴ、ニューヨーク、ロサンゼルス、3支店他、中西部ではテネシー州・ナッシュビルにもサテライトオフィスを置き、全米を幅広くカバーしております。

サービス内容・特色:  
 医療費請求(Clam) 保険料請求(Billing) 加入する保険プランの内容等のご質問に対し、日本語でお気軽にお問い合わせいただける、ツールフリーの「日本語カスタマーサービスライン」をご用意しております。

また、お客様の様々なご要望にお応えする柔軟な商品設計、商品ラインナップ等、ニッセイならではのきめ細かいサービス・サポート体制を通じ、米国最先端の団体医療保険をご提供致します。